

本部 MA2026-022

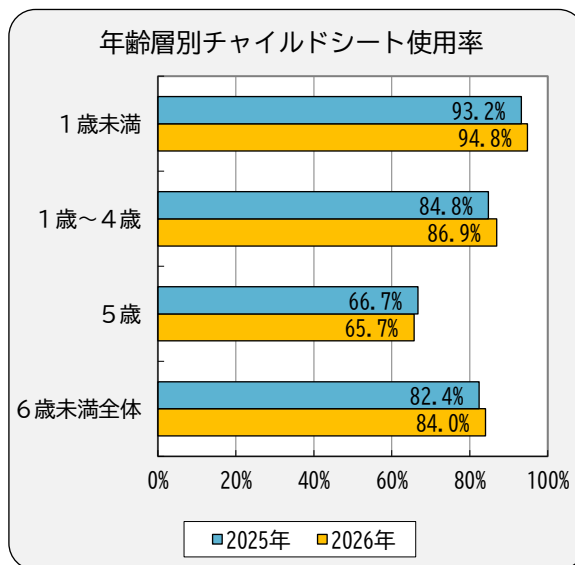
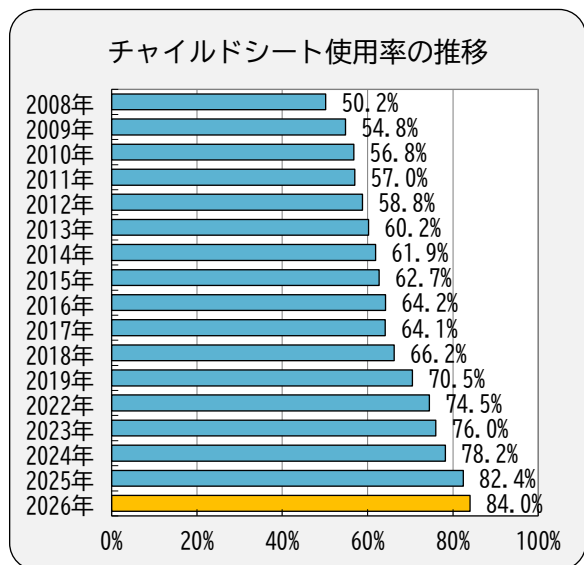
2026 年 9 月 15 日

チャイルドシートの使用率は過去最高の 84.0% 一方で 4 割超が正しく着座できず、適正使用に課題 ～2026 年チャイルドシート使用状況全国調査を実施～

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 坂口正芳）は、警察庁と合同で 2026 年 5 月 9 日（土）～5 月 31 日（日）の期間、自動車乗車中の 6 歳未満の子どもを対象に「チャイルドシートの使用状況」と「チャイルドシートの取付け状況、着座状況」調査を全国で実施し、その結果を公表しました。

■使用率は過去最高を更新。一方で適正な取付け・着座には課題

全国 99 箇所で行ったチャイルドシート使用状況調査の結果、6 歳未満の子ども全体の使用率は 84.0%（前年比 1.6 ポイント増）で過去最高を更新しました。一方で、約 6 人に 1 人は依然としてチャイルドシートを使用しておらず、年齢別では 5 歳児の使用率が 65.7%と最も低い結果となりました。



※2020・2021 年は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査中止

※詳細およびその他の調査結果については、下記 URL より「チャイルドシート使用状況調査（2026 年調査結果）」をご参照ください

また、全国 16 箇所（8 地域）で実施したチャイルドシート取付け状況調査によると、乳児用・幼児用のチャイルドシートが自動車に正しく（取扱説明書どおりに）取り付けられていたのは 77.6%で、残りの 22.4%は何らかの問題により正しく取り付けられていませんでした。

同時に実施したチャイルドシート着座状況調査では 41.3%が正しく着座できておらず、着座状況についても課題があることが明らかになりました。

■JAF では身長 150cm 未満の子どもにチャイルドシートの使用を推奨

6 歳以上であっても子どもの体格によってはクルマのシートベルトが十分な効果を発揮できない場合があります。その際は、チャイルドシートまたはジュニアシート（背もたれ付きタイプまたはブースタータイプ）を活用しましょう。

ただし、150cm 未満という基準はあくまで目安です。子どもの体格や車種によってシートベルトのかかり方に個人差があるため、シートベルトが首や腹部にかからず、適切な位置で着用できている

かを確認してください。

チャイルドシートを適正に取り付け、正しく着座させていないと、子どもが怪我をするなど重大な事故につながるおそれがあります。今回の調査では、腰ベルトの締付け不足やサポートレッグ※の調節不良、ハーネスの締付け不適正など、適正な取付け・着座ができていない事例が確認されました。JAF ウェブサイトの「チャイルドシート完全ガイド」では、チャイルドシートの選び方や正しい使用方法を紹介しています。

※チャイルドシートを車両に固定するための支柱

JAF では、引き続き子どもの車内での安全を守るため、チャイルドシートの適正使用に関する啓発活動を積極的に進めてまいります。

▼添付資料：チャイルドシート使用状況調査（2026 年調査結果）

https://jaf.or.jp/-/media/1/2590/2610/2639/2653/4503/crsdata_2026.pdf?la=ja-JP

▼参考ページ：チャイルドシート完全ガイド

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/protect-life/child-seat>

一般社団法人 日本自動車連盟 広報課

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@o3.jaf.or.jp URL : <https://jaf.or.jp/>

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館

メディア専用お問い合わせフォーム（右記二次元コード） <https://jaf.or.jp/media>

